

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社パピレス

コード番号 3641 URL <http://www.papy.co.jp/info/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 松井康子

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務・経理部長

(氏名) 須永喜和

TEL 03-3590-9460

四半期報告書提出予定日 平成25年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|------|------|------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 26年3月期第1四半期 | 1,560 | 19.2 | 160 | 57.4 | 166 | 75.4 | 104 | 74.3 |
| 25年3月期第1四半期 | 1,308 | 20.9 | 102 | 71.7 | 94 | 42.7 | 59 | 49.4 |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年3月期第1四半期 | 82.90 | 82.22 |
| 25年3月期第1四半期 | 48.62 | 48.35 |

(2) 財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | |
|-------------|-------|---|-------|---|--------|--|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | | |
| 26年3月期第1四半期 | 3,562 | | 2,313 | | 64.9 | |
| 25年3月期 | 3,501 | | 2,221 | | 63.4 | |

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 2,313百万円 25年3月期 2,221百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| 25年3月期 | — | 0.00 | — | 10.00 | 10.00 |
| 26年3月期 | — | | | | |
| 26年3月期(予想) | | 0.00 | — | 10.00 | 10.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|-------|------|------|-------|------|-------|-------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 3,019 | 11.2 | 116 | △36.9 | 133 | △28.2 | 83 | △28.7 | 66.54 |
| 通期 | 6,341 | 13.7 | 298 | △32.5 | 334 | △32.8 | 208 | △33.4 | 165.90 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 26年3月期1Q | 1,290,860 株 | 25年3月期 | 1,290,860 株 |
| ② 期末自己株式数 | 26年3月期1Q | 34,044 株 | 25年3月期 | 34,044 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 26年3月期1Q | 1,256,816 株 | 25年3月期1Q | 1,229,916 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|--------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 5 |
| 第1四半期累計期間 | 5 |
| (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 6 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 6 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 6 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、当初、アベノミクスへの期待による企業心理が改善するなか、日本銀行の金融緩和政策を受け、緩やかに上昇を続けていましたが、直近では、期待先行による改善が一服し、一時的に足踏み状態となっています。

通信端末の市場環境は、IDC Japan株式会社の調査では、平成25年1月～3月のスマートフォンの国内出荷台数が、681万台（前年同期比4.0%増）にとどまり、スマートフォン需要の成長鈍化の兆候が見られます。

電子書籍の市場環境は、株式会社インプレスビジネスメディア『電子書籍ビジネス調査報告書2013』では、平成24年度は729億円（前年度比15.9%増）と推計されています。また、これまで電子書籍市場の中心を担ってきた、携帯向け電子書籍市場は、351億円（前年度比26.9%減）と推計されていますが、新たなプラットフォーム（スマートフォンやタブレット端末等）向け電子書籍市場は、368億円（前年度比228.6%増）と、携帯向け電子書籍市場の落ち込みを上回るほど急速に拡大しています。同報告書では、平成25年度以降は、新たなプラットフォーム向け電子書籍市場が市場の中心となり、平成29年度の市場規模は、平成24年度の約3.3倍の2,390億円程度になると予測されています。

当社を取り巻く事業環境は、大手企業の参入が相次ぎ、競争が激化しています。この結果、掲載コンテンツの需要が増加し、出版社等のコンテンツホルダーからの仕入コスト上昇のリスクが高まっています。また、集客を強化するための広告宣伝や販促コストも拡大傾向となっています。

このような環境の中で、当社は、顧客第一主義のもと、サービスの向上と差別化によって、売上高を伸ばすとともに、収益体質の改善に努めています。

売上原価については、コンテンツホルダーへのきめ細かな営業活動によって、これまでの仕入コストの比率を維持し、その上昇リスクを抑制することができました。

また、販売費及び一般管理費については、広告宣伝や販促のコストは増加したものの、継続的な内容の見直しを行い、その効率化を進めた結果、売上高に対する比率を引き下げることができました。代金回収手数料の低い決済利用の増加も収益体質の改善に寄与しました。

この結果、当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高は1,560百万円（前年同期比19.2%増）、営業利益は160百万円（前年同期比57.4%増）、経常利益は166百万円（前年同期比75.4%増）、四半期純利益は104百万円（前年同期比74.3%増）となりました。

当社の事業は電子書籍事業のみであり、事業所も本店のみとなっているため報告セグメントはありません。以下、事業の業績を示すと次のとおりであります。

<電子書籍事業>

①本店による電子書籍販売

当第1四半期累計期間においても、引き続き3P（プロモーション・プレイス・プロダクト）戦略による販売拡大を図りました。プロモーション戦略とは、広告やポイント付与等を用いた集客施策を指し、プレイス戦略とは、サイト改良やサイトを利用する上での、サービス内容改良等によるユーザー利便性の向上施策を指し、プロダクト戦略とは、掲載冊数拡充などのコンテンツ施策を指します。

プロモーション戦略としては、効果の高い広告の選定やポイント付与施策等、購買に結びつく集客に注力しました。また、Twitter、Facebookを活用してのPR企画も継続して行っております。

プレイス戦略としては、「電子貸本Renta!」のサイト改良や、スマートフォン、タブレット端末対応の書庫アプリ改良を行う等、ユーザーがより使いやすいサービス提供を目指しました。また、英語版「電子貸本Renta!」では、新規決済手段としてアジア圏で普及している電子マネーを導入しています。さらに、販路拡大のため、中国繁体字版「電子貸本Renta!」の開設準備を行いました。

プロダクト戦略としては、コミック、小説・ノンフィクション、ビジネス書、趣味実用書等、幅広いジャンルの書籍を入荷しました。新規施策としては、当社が独自開発したデジタルならではの動きを付加したコンテンツである、「ReComic」の提供や、女性向け人気雑誌の月額読み放題サービスを開始しています。また、電子書籍作品投稿サイト「upppi」において、オリジナルコンテンツの開拓を進めています。

なお、平成25年6月末現在における掲載冊数は182,273冊（コミック64,516冊、小説・ノンフィクション62,918冊、写真集33,345冊、その他21,494冊）、当第1四半期累計期間における販売冊数は5,710,623冊（コミック5,143,753冊、小説・ノンフィクション407,669冊、写真集25,399冊、その他133,802冊）となりました。

この結果、当第1四半期累計期間における本店による電子書籍販売の売上高は1,503百万円（前年同期比16.6%増）となりました。

②提携店を通じた電子書籍販売

ヤフー株式会社、Amazon社等のポータルサイトやECサイトとの提携による、電子書籍委託販売や取次販売を行っております。また、中国、台湾、韓国等のアジア圏を中心とした海外サイトと提携し、海外への販売活動を行っています。

当第1四半期累計期間における提携店を通じた電子書籍販売の売上高は56百万円（前年同期比252.4%増）となりました。

③その他

その他、電子書籍の図書制作売上等を計上しております。

当第1四半期累計期間におけるその他の売上高は1百万円（前年同期比67.6%減）となりました。

(注) 「Twitter」は、Twitter, Inc. の商標です。

「Facebook」は、Facebook, Inc. の商標です。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前事業年度末と比べて68百万円（2.2%）増加し、3,273百万円となりました。

主な増加内容として、現金及び預金が59百万円増加、売掛金が26百万円増加しています。

固定資産は、前事業年度末と比べて8百万円（2.9%）減少し、288百万円となりました。

主な減少内容として、投資その他の資産が8百万円減少しています。

なお、当第1四半期累計期間において、重要な設備の新設および除却は発生していません。

この結果、資産合計は、前事業年度末に比べて60百万円（1.7%）増加し、3,562百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末と比べて、31百万円（2.4%）減少し、1,248百万円となりました。

主な増減内容として、買掛金が25百万円増加、未払金が24百万円増加、未払法人税等が78百万円減少、賞与引当金が22百万円減少しています。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて31百万円（2.4%）減少し、1,248百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末と比べて、91百万円（4.1%）増加し、2,313百万円となりました。

主な増減内容として、四半期純利益104百万円の獲得および配当金12百万円の支払いを計上しています。

この結果、自己資本比率は64.9%（前事業年度末は63.4%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、売上高は6,341百万円、営業利益は298百万円、経常利益は334百万円、当期純利益は208百万円を予想しています。

当事業年度は、新規コンテンツの開発による制作コストの増加や、競争激化による仕入コスト上昇リスクの拡大等による売上原価の上昇を見込んでいます。

当第1四半期累計期間においては、営業努力により仕入コストの上昇が抑制されていること、新規コンテンツ開発費用が、当初計画よりも発生していないことにより、業績予想よりも売上原価が低く抑えられています。

また、代金回収手数料について、手数料率が高い決済先の利用が伸びることを予測し、増加を見込んでいますが、計画より伸びが緩やかであるため、販売費及び一般管理費が低く抑えられています。

当事業年度を通しての業績予想は、売上原価、販売費及び一般管理費の上昇等を見込んでおり、平成25年5月14日の決算短信で公表した業績予想は変更していません。

今後、現在公表している業績予想に関して修正する必要が発生した場合は、すみやかに公表いたします。

なお、上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくため、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成25年3月31日) | 当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日) |
|--------------|-----------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,976,493 | 2,036,056 |
| 売掛金 | 794,128 | 820,578 |
| 有価証券 | 265,812 | 264,232 |
| コンテンツ資産 | 1,044 | 875 |
| その他 | 171,055 | 156,216 |
| 貸倒引当金 | △3,621 | △4,052 |
| 流動資産合計 | 3,204,912 | 3,273,907 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 7,787 | 7,423 |
| 無形固定資産 | 234 | 234 |
| 投資その他の資産 | 288,908 | 280,705 |
| 固定資産合計 | 296,929 | 288,362 |
| 資産合計 | 3,501,841 | 3,562,270 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 595,507 | 621,300 |
| 未払金 | 309,302 | 333,744 |
| 未払法人税等 | 128,711 | 50,607 |
| 賞与引当金 | 35,303 | 12,963 |
| その他 | 211,142 | 230,158 |
| 流動負債合計 | 1,279,967 | 1,248,774 |
| 負債合計 | 1,279,967 | 1,248,774 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 414,462 | 414,462 |
| 資本剰余金 | 189,389 | 189,389 |
| 利益剰余金 | 1,688,322 | 1,779,948 |
| 自己株式 | △70,311 | △70,311 |
| 株主資本合計 | 2,221,862 | 2,313,488 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 12 | 7 |
| 評価・換算差額等合計 | 12 | 7 |
| 純資産合計 | 2,221,874 | 2,313,495 |
| 負債純資産合計 | 3,501,841 | 3,562,270 |

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日) | 当第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | 1,308,797 | 1,560,630 |
| 売上原価 | 541,808 | 640,495 |
| 売上総利益 | 766,988 | 920,135 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 広告宣伝費 | 405,742 | 468,916 |
| 代金回収手数料 | 126,351 | 137,525 |
| 貸倒引当金繰入額 | 2,545 | 2,833 |
| 賞与引当金繰入額 | 6,075 | 7,892 |
| その他 | 124,189 | 142,296 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 664,903 | 759,464 |
| 営業利益 | 102,085 | 160,670 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 911 | 723 |
| 退会者未使用課金収益 | 7,495 | 5,810 |
| その他 | — | 0 |
| 営業外収益合計 | 8,406 | 6,534 |
| 営業外費用 | | |
| 為替差損 | 15,629 | 779 |
| 営業外費用合計 | 15,629 | 779 |
| 経常利益 | 94,862 | 166,424 |
| 税引前四半期純利益 | 94,862 | 166,424 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 28,064 | 49,293 |
| 法人税等調整額 | 7,002 | 12,936 |
| 法人税等合計 | 35,066 | 62,230 |
| 四半期純利益 | 59,795 | 104,194 |

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。